

安曇野屋敷林 サポーター通信

第11号

発行日/2014年10月6日

編集・発行/屋敷林と歴史的まちなみプロジェクト

連絡先/ブランド推進担当 ☎0263-82-3131

http://keikan-azumino.net/p_yashiki

安曇野環境フェア 2014 のご案内

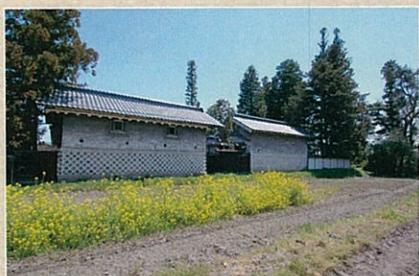
第7回安曇野環境フェア2014が10月11日（土）・12日（日）に安曇野市堀金総合体育館で開催されます。当プロジェクトでは恒例のパネル展示と屋敷林についてのアンケートを募集する予定です。11日には午前10：00から堀金扇町の屋敷林見学会を予定しています。是非参加ください。
当日の募集です。（予約不要）



堀金扇町

まちなかカレッジ 等々力地区屋敷林見学会

第3回 安曇野まちなかカレッジが10月18日から11月30日の間に開催されます。主催は安曇野カレッジ実行委員会（小岩井哲夫委員長）です。当プロジェクトでは11月1日（土）午前10：00～11：30に穂高等々力地区の屋敷林見学会を計画しています。参加希望の方は82-3131 安曇野ブランド担当まで連絡ください。



等々力家住宅



望月家住宅

屋敷林&落ち葉拾いボランティアのご案内

三郷の松岡さんの広い屋敷林には、ケヤキをはじめ杉桧など多くの屋敷林の落葉が一面に広がります。今年で2回目となる屋敷林&落ち葉拾いボランティアが開催されます。

11月29日午前9：00に松岡家に集合し 作業を開始します。（別紙の案内ご覧ください）



安曇野屋敷林フォーラム 2015 のご案内

今年度も安曇野屋敷林フォーラム2015を開催する予定です。

日時：平成27年3月21日（土）

場所：穂高交流学習センター みらい 多目的ホール

内容：基調講演 未定

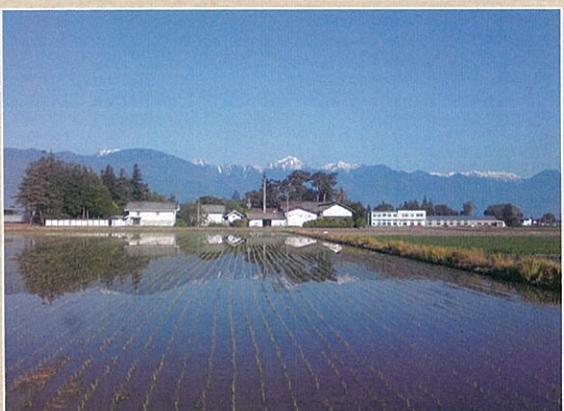
パネルディスカッション

展示：3月13日～21日 展示ホールにて

当プロジェクトはフォーラムの開催に合わせ、屋敷林の所有者・一般の方からアンケートを募集する計画です。

屋敷林サポーターの方々にもご協力をお願いします。

今回のフォーラムは屋敷林の原点にもどり 如何に屋敷林を保全するか 将来の安曇野の景観財産の維持 住民の意識の問題等多面にわたり討論したいと考えています。



飯田の屋敷林

安曇野の屋敷林考

場々 洋介

■屋敷林保全の問題点

落葉による近隣への影響や心情から、屋敷林を切ってしまうケースがある。また、三郷、小倉など南側にある屋敷林は、部屋を暗くする理由から切ってしまうケースが多い。

■現代住宅の緑化状況

新しい住宅は敷地も50-70坪程度で駐車場を取ると、ほとんど緑化スペースが取れない事 かつ緑化に关心が無い世代が多くなってしまった。

■屋敷林から見えてくるもの

安曇野の特長である屋敷林を未来の財産として残すには、個人レベルの努力では限りがある。

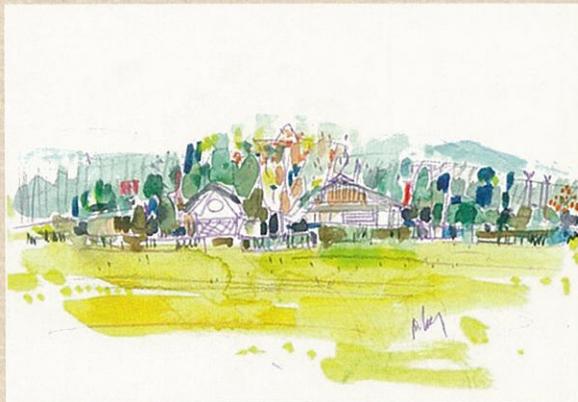
屋敷林を市民全体で守っていく姿勢こそが大切。

税法上の優遇やナショナルトラストの様な基金の活用をする方法も今後の課題。 豊科の蔵久は旧家の良さと屋敷林を新しい提案で生かしたいい例です。



■緑のまちづくりに向けて

安曇野に住もう価値は、緑に囲まれた生活の豊かさであると思う。歴史的なまちなみと屋敷林を宝とし新しい住宅地、街路に緑あふれる町づくりが必要。



一歩（本）前進か？

宗像 章

屋敷林と歴史的まちなみプロジェクトの活動に関わらさせて戴いて約10年の歳月が過ぎようとしております。

安曇野に住みこの景観を享受している事に何らの違和感を感じていない事に気づき景観の本質はと問うた時「安曇野に点在する屋敷林」に負うところが大と感じました。

それ以後、屋敷林の保全、維持管理の問題点、新しい緑地の確保等の事で、安曇野の全域といつても過言ではなく歩くことができました。

そこで感じたことは、現在ある景観を損ねる事は勿論ですが、身近な環境でも、現代屋敷林が可能ではないのかと模索して、住宅の周りの「生垣」の提案を色々な場面で提案してきました。

近隣市町村では、住宅の新築、子供の誕生記念に数種類の中から苗木を提供している事が有ります、安曇野市にあってはその制度は有りませんでしたが、平成26年9月17日の新聞の一面でその制度が発足するようです。

1戸建ての住宅の周囲は勿論ですが、住宅団地の外周にも緑の生け垣が復活するかと思うととても嬉しいし、地震時のブロック塀等の倒壊による2次災害の防止に役立つのではないかと期待します、長年の願いが行政の一部に理解が及んだことに一歩（一本の木）私たちの活動が前進できたのかなあと思っております。

しかし、景観は風土で有りますので長い時間をかけて見守っていきたいと思うところです。

官民一体となる来つつある今、我々も一層の努力をすることかと思います。

